

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2021/10/20 更新

質問者記入欄				JICA記入欄		
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2021/10/20	21a00742000000	カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2(ビジネスコース実施)	経済開発部 民間セクター開発グループ	業務主任者/ビジネスコース企画・管理、及びコース運営管理について、想定されているそれぞれの担当業務についてご教示いただきたい。	業務主任者/ビジネスコース企画・管理は、業務主任者として全体の運営管理を行いつつ、対象のビジネスコースの企画を担い、CJCCの能力向上および全体の効果発現に繋がるように適宜監督いただきたいと考えています。コース運営・管理については、企画時点から補佐いただきつつ、実際のコース実施にかかるスケジュールリング、講師および現場との調整等の運営面におけるCJCCの能力強化に貢献いただくことを想定しております。	2021/10/20
2021/10/20	21a00742000000	カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2(ビジネスコース実施)	経済開発部 民間セクター開発グループ	『ビジネスコース講師①経営戦略・マーケティング』及び『ビジネスコース講師②人材管理・品質管理・生産管理』との記載がありますが、これはそれぞれ同一講師（各1名）が上記各講座を実施することを意図されているのでしょうか。	講師の人数は、複数名で分担することが効果的である場合は複数名となっても構いません。その場合は、プロポーザルにて業務従事者の構成案をご提示ください。	2021/10/20
2021/10/20	21a00742000000	カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2(ビジネスコース実施)	経済開発部 民間セクター開発グループ	『Eラーニングシステム』で意図されている主な業務内容についてご教示いただきたい。	Eラーニングシステムの業務担当については、現行フェーズで実施中のEラーニングシステム導入支援およびオンラインコンテンツ制作がベースとなります。システム動作のサポート（基本的な動作方法については現行フェーズで指導済みとなるのが前提）、独自コンテンツ開発支援、さらにはCJCCの収入源となるような活用の検討支援等を予定しています。詳細は公示内容をご確認いただけますと幸いです。	2021/10/20
2021/10/20	21a00742000000	カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2(ビジネスコース実施)	経済開発部 民間セクター開発グループ	現地講師の育成について、育成対象とする特定の教科があればご教示いただきたい。	現在の想定では、講師の担当分野（経営戦略、マーケティング、人材管理、品質管理、生産管理）にかかる分野が基本となりますが、具体的な内容や詳細はCJCCのニーズや状況により変更の可能性がございます。（CJCCの職員および外部人材の講師候補がおります。）	2021/10/20
2021/10/20	21a00742000000	カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2(ビジネスコース実施)	経済開発部 民間セクター開発グループ	『ビジネスコースの自立的運営のためのCJCC職員の能力強化や財務管理策の提言』について、(1)「CJCC職員の能力強化」は主にどの様な能力強化を想定しているか、(2)「財務管理策」とは具体的に何を指しているか、それぞれご教示いただきたい。	(1) 将来的に、CJCCのみでビジネスコースを運営していけるよう、例えば実施計画、講師の調達、データの管理、モニタリング等の一環した業務について、CJCC職員が担えるようになることが期待されます。ビジネスコース運営はこれまでも継続的に実施しているため、より戦略的に展開していくためにCJCC関係者と協力して職員の運営能力強化に努めていただきたいと思います。 (2) 自立的な運営には、経費管理や収益創出も非常に重要となります。現在は新型コロナ禍の打撃も受けており、CJCCは財務的な面も含めて長期戦略等を作成予定です。この点にかかり、CJCCの意向をふまえて、財務戦略について専門家の視点で指摘や助言をいただくことを想定しております。	2021/10/20
2021/10/20	21a00753000000	バングラデシュ国ベンガル湾沿岸地域漁村振興プロジェクト	経済開発部 農業・農村開発第一グループ	本案件で利益相反の排除の該当者はいますか？	特定の排除者はありません。	2021/10/20

質問者記入欄					JICA記入欄	
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2021/10/27	21a00775000000	全世界2021-2023年度デジタルヘルス分野課題対応力強化のための情報収集・確認調査	人間開発部保健第二グループ	分析対象のデータはどのようなものを想定していますでしょうか	JICAがプロジェクト活動等を通じて収集する/すべき各種定量・定性データ及び関連する情報	2021/10/13
2021/10/27	21a00783000000	全世界公共交通指向型開発(TOD)の推進に資する都市開発分野協力に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))	社会基盤部都市・地域開発グループ	本件の全体MMIは12MMですが、評価対象である①業務主任者/都市開発/空間計画及び②TOD推進政策/官民連携の2名への配分予定の合計MMを教えてくださいませんか。	全体の人員と業務担当分野については現在検討中で、今後9月29日付のプレ公示からの変更の可能性がございますため、いただいた質問に直接ご回答しかねます。	2021/10/13
2021/11/4	21a00752000000	ジンバブエ国5S-Kaizen-TQM手法による医療サービスの質向上プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本案件における「医療サービスの質」は、どのようなものを指すのでしょうか。差し支えない範囲でご教示いただけますと幸いです。	回答準備中	
2021/11/4	21a00752000000	ジンバブエ国5S-Kaizen-TQM手法による医療サービスの質向上プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	背景にて「消耗品・スペアパーツの調達困難」とありますが、具体的にどのような消耗品・スペアパーツが挙げられているのでしょうか。差し支えない範囲でご教示いただけますと幸いです。	回答準備中	
2021/11/4	21a00811000000	モロッコ国スイラケディマ新世代型漁港整備計画準備調査	経済開発部農業農村開発第一グループ	10月6日のプレ公示では、業務担当分野が以下のように記載されております。 ●業務主任者/運営管理計画/水産物流通(評価対象予定) ●施設設計/機材計画(評価対象予定) ●施工・調達計画/積算(評価対象予定) ●海洋土木、施工計画、自然条件調査、環境社会配慮/ジェンダー配慮 このうち、3つ目の「施工・調達計画」と4つ目の「施工計画」の違いをご教示ください。 4つ目の「、」で区切られている業務担当分野はそれぞれ独立したものという理解でよろしいですか。	10月6日付プレ公示における業務担当分野に関し、弊機構内で再度検討し、以下のとおり修正します。 「 ●業務主任者/零細漁業開発/漁港運営(評価対象予定) ●漁港施設設計(評価対象予定) ●施工・調達計画/積算(評価対象予定) ●海洋土木/自然条件調査、水産物流通/機材計画、環境社会配慮/ジェンダー配慮 なお4つ目の「、」で区切られている業務担当分野はそれぞれ独立したものという理解で間違いありません。	2021/10/13
2021/11/4	21a00811000000	モロッコ国スイラケディマ新世代型漁港整備計画準備調査	経済開発部農業農村開発第一グループ	案件名に「新世代型漁港」とありますが、具体的にどのような内容を想定されていらっしゃるのかご教示ください。	本事業で整備する「新世代漁港」は、既往の漁港(小規模漁港(VDP)および簡易水揚場(PDA)等)と異なり、高度衛生管理区画の設置による流通改善や、観光開発を含む零細漁港の多機能化など、日本の知見を活かした漁港の拡張・再整備を想定します。	2021/10/13

質問者記入欄					JICA記入欄	
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2021/11/10	21a00808000000	東ティモール国重点流域における森林減少抑制及び気候変動強靱化のためのランドスケープ管理能力向上プロジェクト	地球環境部森林・自然環境グループ	<p>【活動内容】成果4「インパクトが評価される」とは、次ページ https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/impact.htmlに示されるような手法を用いてプロジェクトが対象地域住民及び周辺の森林等にもたらした効果を精緻に検証するのでしょうか。 あるいは、通常の事業評価で行われるような事業の間接的な正負の効果（事業以外の外部要因の影響も含む）を検証するという意味でしょうか。</p>	<p>詳細については、GCFサイトにて公開されているJICAよりGCFに提出したプロポーザル（Funded Proposal：FP）一式 https://www.greenclimate.fund/document/gcf-b28-02-add13に記載がありますが、成果4「インパクトが評価される」は、GCFの基準に則った評価となります（GCFプログラミングマニュアル https://www.greenclimate.fund/document/programming-manual）に記載あり）。 結果として、記載いただいたページ https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/impact.htmlのインパクト評価や通常の事業評価の観点も含まれてはいますが、GCFの基準に則った本プロジェクト独自の評価となります。 本プロジェクトではGCFサイトに公開されているFP一式にあるように、ベースライン調査結果の数値を基に社会経済状況、森林被覆状況の面から、妥当性、効率性、効果、持続性、インパクトを評価する想定です。また、中間評価では、前半数年間のプロジェクトの実施を通じた活動の効果や教訓を抽出、確認することにより、その後のプロジェクトの活動計画を見直すことなどが目的です。</p>	2021/10/20
2021/11/10	21a00814000000	ネパール国種子生産・供給・品質管理システム強化プロジェクト	経済開発部農業・農村開発第一グループ	本プロジェクトの協力対象はイネ種子のみと理解してよろしいでしょうか。	本プロジェクトの協力対象は、イネ種子であり、PDMの達成指標の対象はイネ種子に限定しています。しかし、ネパール政府は、イネ以外の穀物（小麦、メイズなど）にも強い関心を有しており、コメと手順が共通する品質管理に関連する部分において、プロジェクトの可能な範囲内で協力することとしています。	2021/10/20